

エアカットバルブオールクリア接着手順について

1. 接着接合

接着接合はオールクリアの受口をテーパーにして、硬質塩化ビニール管専用接着剤による塩ビ膨張と塩ビの弾力性を利用した物です。

接着剤を管とオールクリアに塗れば、その表面に厚さ約 0.1mm程度の潤滑層ができ、この層により管は流動的に差込まれます。

差込み後、管とオールクリアの受け口が絡み合い接着面を一体化させます。

(1) 接合部を清掃

受口内面及び差口外面を乾いたウエスできれいに拭きます。特に油分と水分は入念に拭きとります。

注1 塗布面に油分や水分が介在すると、硬質塩化ビニール管専用接着剤がはじかれ見かけは塗布されている様でも接着効果はほとんど得られません。

(2) 接着面に土砂などをつけない

枕木を置くなどして接着剤を塗布した差口に土砂などがつかない様にしてください。

(3) 接着剤を均一に塗布する

接着剤は、硬質塩化ビニール管専用接着剤を使用し、受け口内面及び差口外面に均一に素早く塗って下さい。

塗り忘れが無い目視確認が出来るよう、色付き接着剤の使用を推奨致します。

接着剤の塗布は、塗もれのないよう円周方向に行い、土砂が付着しやすい差込口側は受口側の後で行ってください。

なお、刷毛は動物の毛の物を使用してください。

注2 硬質塩化ビニール管専用接着剤を塗布する事で受口内面及び差口外面を膨張させ、その両面を圧する事で接着効果が得られるものであるため、必ず受口及び差口両面に塗布してください。

硬質塩化ビニール管専用接着剤使用量（参考）

（1箇所当たり 単位：g）

呼び径	20	25	30	40	50
使用量	1.3	2.0	2.0	2.4	3.5

(4) 挿入は素早く行う

接着剤塗布後は、管軸を合わせ素早く奥まで差し込み、表 1 の保持時間以上挿入力を保持してください。

表 1

保持時間	
夏季	冬季
30 秒以上	1 分以上

注 3 夏季炎天下では、塗布された硬質塩化ビニール管専用接着剤は短時間で乾き接着不能となる為、出来るだけ素早く差込んでください。

注 4 接着受け口にはテーパーが設けられている為、硬質塩化ビニール管専用接着剤に滑性効果が残っている間は差込んだ管を押し戻す力が働きます。このため溶剤が揮発し、ある程度の接着効果生じるまでは挿入力を保持しなければなりません。

注 5 ハンマーなどで叩き込み挿入は、接着力を保持できない為、また管を破損させることが有る為、絶対に行わないで下さい。

(5) はみだし接着剤をふき取ります。

差込み後、はみ出した接着剤はウエスでふき取って下さい。

注 6 硬質塩化ビニール管専用接着剤の溶剤蒸気が管内面に再凝縮すると、管内面にクラックが（亀裂）が生じることが有ります。外勤が 5℃以下となる寒冷期には特に起こりやすい傾向が有る為、次の点に留意してください。

① 接着剤は規定の量を使用してください

② 接着剤が管内外にはみ出さない様に塗布し、はみ出した接着剤はウエスなどでふき取ってください。

③ 配管中及び配管後は管の両口を開け、風通しを良くしてください。

(6) 接着部を養生してください

接合直後、管の上に乗るなどして接着部に無理な荷重を加えたり、無理に曲げたりすると、接着面がはがれ水密性を損なう事が有るので注意してください。